

くすりの町・<sup>ど しょうまち</sup>道修町で無料イベント

## 自由研究に役立つ「夏休み親子おくすり教室」、初の平日開催

～230年続く少彦名神社、薬問屋や製薬企業の集う「くすりの町」で体験学習～

治験施設支援機関のインクロム株式会社(所在地：大阪府吹田市 代表取締役：小椋盛孝)は、少彦名神社、大阪家庭薬協会(ともに大阪市中央区)との共催で、小学校高学年対象の「夏休み親子おくすり教室」を7月26日(水)に開催いたします。

当イベントは今年で4年目、初の平日開催です。座学「子どもの骨と健康」、昨年も大好評だった体験学習「薬膳ラムネづくり」など、親子で楽しみながら健康づくりと健康を支える医薬品を学んでいただける無料イベントです。大阪近隣に住む親子に大阪の歴史と産業「くすりの町・道修町」と、健康を守る医薬品を身近に感じていただくことが狙いです。

### ■子どもの成長に欠かせない「骨の健康」を学ぶ

親子で学ぶ座学のテーマは「子どもの骨とカルシウム」です。講師は、ワダカルシウム製薬(大阪家庭薬協会所属)の社員です。カルシウムの製造販売を始めて100年余りという同社が、成長期の子どもにとって非常に重要な骨の健康づくりについて解説します。

### ■くすりの町のできるまでを学び、薬膳ラムネをつくる

「薬膳ラムネづくり体験」では、本物の“チュアブル錠”型を用いた医薬品づくりを疑似体験します(ラムネは食品です)。講師は田村薬品工業(大阪家庭薬協会所属)の社員です。ラムネづくりに使う薬膳食材、生薬、くすりの製造などの説明もあります。

### ■自由研究のまとめ方、そのコツを学ぶ

どんなことに興味を持つかはお子様次第ですが「大阪の薬の歴史を調べよう」「薬膳食材を調べてレシピ集をつくろう」など、いずれも自由研究として活用できる講座・体験です。座学の「夏休み自由研究のヒント」では、生姜博士としてTV番組で紹介された大阪家庭薬協会 顧問の田部昌弘氏が、自由研究をどうまとめたらよいか、そのコツを解説します。

### ■少彦名神社 宮司 別所賢一氏コメント

大阪・船場エリア、中でも当神社のある道修町は「くすりの町」「日本の医薬品産業発祥の地」と言われています。当イベントへ参加することで、人々の健康を支える薬、病の治癒を願う人々の思い、大阪の産業・歴史などへ関心を持っていただき、親子で話し合う機会となれば嬉しく思います。

### ■夏休み親子おくすり教室 概要

日 時：2017年7月26日(水) 13:30～16:30(受付開始 13:15)

対 象：小学5・6年生とその保護者

参加費：無料 ※要事前予約

申 込：2017年6月26日(月)～7月20日(木) [申込用 web サイト] [www.incrom.com](http://www.incrom.com)

場 所：少彦名神社(大阪市中央区道修町2丁目1-8)

主 催：少彦名神社、大阪家庭薬協会、治験のインクロム

くすりの町・道修町で体験学習  
**夏休み親子  
おくすり教室** 薬膳ラムネ  
づくり体験

参加費  
**無料**  
【事前申込制】

【日時】2017年7月26日(水)  
(受付13:15)13:30～16:30

【対象】小学5・6年生と保護者  
※お子様のみでの参加はご遠慮ください。

【場所】くすりの町  
少彦名神社 大阪市中央区道修町2丁目1-8  
(地下鉄船場線 北船場駅 徒歩約1分・駅南側 道修町駅 徒歩約1分)

お母さん  
「子どもの骨と  
カルシウム」  
「くすりの町  
のできるまで」  
勉強できるよ!

お父さん  
「自由研究の  
ヒント」  
でしよう!

本物の  
くすりの型も  
使うよ!

親子で  
薬膳と  
生薬を  
知りましょう!

お母さん  
お父さん  
おのれを  
褒めよう!

講師 田部昌弘(ワダカルシウム製薬株式会社) 田村大輔(田村薬品工業株式会社)  
司会 田部昌弘(大阪家庭薬協会) 田部昌弘(大阪家庭薬協会)

【受付期間】2017年6月26日(月)～7月20日(木)  
[www.incrom.com](http://www.incrom.com) (夏休み親子おくすり教室)の  
ページから、イベント参加ページへ

【お申し込みは  
ホームページから  
【事前申込制】

【おくすり教室へのお問い合わせ】 インクロム株式会社 広報部 TEL:06-6192-0002(受付 9時～17時)

少彦名神社・大阪家庭薬協会・治験のインクロム

#### 本件に関する問い合わせ：

インクロム株式会社

広報部 <sup>さんの</sup>三野

携帯：090-4649-1652

[大阪事業所] 大阪府吹田市春日 4-12-11  
千里サンブラザ新館 〒565-0853  
TEL: 06-6192-0002  
e-mail: [bridging-japan@incrom.com](mailto:bridging-japan@incrom.com)  
Web サイト: [www.incrom.com](http://www.incrom.com)

## ■当日のプログラム

- 13:15~13:30 受付  
13:30~ [座学]子どもの骨とカルシウム  
14:00~ (神社境内にて) 宮司によるお祓いの後、神農さま<sup>※1</sup>と記念撮影  
14:20~ [座学]おくすりのできるまで  
[体験学習]薬膳ラムネづくり  
15:20~ ティーブレイク<sup>※2</sup>  
15:40~ [座学]夏休み自由研究のヒント  
16:00~16:30 修了証書授与式<sup>※3</sup>

※1: インクロムのキャラクター「神農さま」は、少彦名神社公認です。

※2: 成人女性に多い冷え症を解消する「生姜紅茶」をご用意します。

※3: 修了証書授与式では、修了証書とともに記念写真を神農さまが授与します。

終了後、希望者はロビーにて神農さまとのふれあいタイム、また神社事務所ビル内の「くすりの道修町資料館」をご見学いただけます。

## ■2014年・2015年・2016年の同イベントの様子(順不同)



## ■健康の神、薬の神を祀る「<sup>すくなひこな</sup>少彦名神社」と「<sup>どしよまち</sup>くすりの町・道修町」

少彦名神社は大阪市中央区の道修町にあります。道修町を含む北船場地区の歴史は豊臣時代までさかのぼり、中国から輸入される唐薬種を扱う堺の商人が寛永年間(1624~1645)に道修町で薬種屋を開いたことから始まると言われています。江戸時代 8 代将軍徳川吉宗の時代である享保 7 年(1722)に幕府によって認められ、所薬種を吟味(検査)して適正価格をつけ独占的に全国へ供給したことから、くすりの町として知られるようになりました。

道修町の薬種商の家では、中国の薬の神様である神農氏の掛け軸を拝むようになり、安永 5 年(1780)に道修町の薬種中買仲間による伊勢講が結成され、日本の薬の神様である少彦名命の分霊を勧請して神農氏とともに祀られるようになったことから、少彦名神社は、“神農さん”の愛称で親しまれています。



## ■大阪家庭薬協会 概要

大阪家庭薬協会は、昭和 20 年に大阪府内に本社または工場等の営業拠点を持つ家庭薬メーカー 34 社の親睦団体として創立されました。設立当初は「大阪府家庭薬組合」と称し、その後、昭和 25 年 2 月に「大阪家庭薬協会」と名称が変更され今日に至っています。今では大阪府内だけでなく関西近辺、東京、名古屋、九州に本社がある家庭薬メーカーも加盟し、会員相互に親睦を深め、具体的なテーマを決めて連携する団体として活動しています。総会員社数は 50 社です。

## ■インクロム 会社概要

インクロムは SMO(治験施設支援機関)として医療機関と契約し、煩雑な治験業務のサポートを行っています。治験を担当するスタッフを医療機関に派遣、治験ボランティア募集業務やボランティアパネルの管理など、治験を円滑に進めるためのサポート体制を整えている点が特長です。これまでに当社が関わった試験数は国内だけで約 1,800 試験を誇ります。

当社が支援する提携医療機関の中核が、医療法人平心会 大阪治験病院です。大阪治験病院は、2005 年 11 月に開設された、日本で初めて生まれた治験に特化した病院です。

当社は、認知度があまり高くない「治験」を、治験に参加いただくことが可能な疾患のある方や健康な方(いづれも成人)に限定せず広い世代に知っていただくため、「神農さま」によるキャラクター展開や、健康イベント、WEB サイトによる健康情報の発信などを行っています。

社名	インクロム株式会社
代表取締役	小椋 盛孝
所在地	[大阪事業所] 〒565-0853 大阪府吹田市春日 4-12-11 千里サンプラザ新館
資本金	4000 万円
社員数	グループ総数 356 名(2016 年 12 月 1 日現在)
創業	1975 年
事業内容	治験施設支援
主要提携医療機関	医療法人平心会(大阪治験病院/OCROM クリニック/ToCROM クリニック)

## ■治験とは

厚生労働省は、新しい薬の使用を許可するとき、その薬の安全性と有効性(薬効)を裏づける、種々の資料の提出を義務付けています。それらの資料には、動物から情報を得るための試験である「非臨床試験」やヒトから情報を得るための試験である「臨床試験」の情報が含まれています。この「治療薬を開発して、厚生労働省の承認を得るために行なう臨床試験」のことを“治験”と呼びます。治験の資料がなくては、どんなに優れた効き目を持つ薬も許可されない、医薬品開発に不可欠なプロセスです。

## ■SMO とは (日本 SMO 協会 web サイトより抜粋)

SMO(Site Management Organization : 治験施設支援機関)は、治験実施施設(医療機関)と契約し GCP に基づき適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関において煩雑な治験業務を支援する組織です。治験に関わる医師や看護婦、事務局の業務を支援することにより、スタッフの負担を軽減し、治験の品質・スピード向上を支援します。